

# 第1回 農の風景育成ワークショップ

日時：2022年4月23日（土）9：30～

場所：鹿骨小学校 体育館

## ①名札について


農の風景育成地区ワークショップ

小松菜クラブ の

えどちゃん です

肩書や所属、住んでいる町など、ご自身のワンポイントアピールを記入してください。

名前を“ひらがな”で大きく見やすく書いてください。



※ワークショップ終了後は、机に置いてお帰りください。

## ②本日のワークショップの流れ

9：30 開会

9：40 ワークショップ

- ・ワークショップの役割と狙い
- ・事前ワークシートの振り返り
- ・事例紹介
- ・鹿骨でできそうなアクションの検討

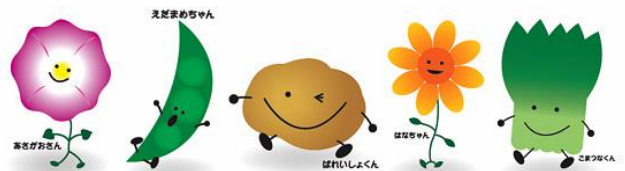


ファシリテータ  
鈴木 亮平さん

11：00 グループ毎に発表

11：20 事務連絡

11：30 閉会



## ③次回ワークショップについて

第2回ワークショップを下記のとおり開催します。

**日 時：令和4年6月18日（土）14：30～16：30**

会 場：鹿骨小学校体育館（鹿骨六丁目3番5号）

持ち物：室内履き

その他：欠席する場合は事前に事務局までご連絡ください。

駐車場は使用できません。公共交通機関等をご利用ください。

体育館に空調設備はありますが、調整できる服装でお越しください。



第2回のワークショップでは「やりたいこと」毎にグループを作成し、第3回（10月を予定）までの期間それぞれグループにて検討を行っていきます。今日のワークショップを参考に、どんなことにチャレンジするか考えてみてください。

# 「農の風景育成ワークショップ」とは？

ワークショップの役割と狙い

□グリーンインフラの考え方

都市農地の役割 = 生産の場

+ 景観 / 防災・減災 / 食育・教育 / 地域振興・コミュニティ

▷ 農家さんだけで守るものではなく、地域みんなで守る。

(生産者 + 行政・地域住民・企業 etc)

□鹿骨のまちづくり

農地・緑を大切にしながら、豊かな暮らしを描いていけないか？

▷ 農家さんだけ、行政だけで考えるのではなく、地域みんなで考える。

▷ みんなの「やってみたい」「チャレンジしたい」を重ね合わせる。

▷ 決まった答えはないので、アイデア・意見を出し合いながら、時にアクションを取りながら、鹿骨らしい取り組みを生み出していく。

# アイデア・キーワード

事前ワークシートの振り返り

## □鹿骨地区の課題

農家

高齢化・後継者不足



遊休農地増加の懸念  
宅地への転用の心配

災害時



ゼロメートル地帯  
食糧自給率

都市農地の課題



車の通行による危険性  
ゴミの投棄、盗難  
住宅による日照制限

交通の不便



南北方向のアクセス  
高齢者の移動

# アイデア・キーワード

事前ワークシートの振り返り

## □アイデア

### 販売

- ・ ネット販売
- ・ マルシェ
- ・ アンテナショップ
- ・ 新規農産物

### 体験

- ・ 収穫体験
- ・ 観光農園
- ・ 栽培講座
- ・ レンタルキッチン

### 地域

- ・ こどもの居場所
- ・ シニアの憩いの場
- ・ 災害時の食糧供給
- ・ 歴史

### 環境

- ・ 花壇づくり
- ・ フードロス
- ・ 景観（ハウスの連続）
- ・ 資源の循環

### 教育

- ・ 食育
- ・ こども食堂
- ・ 学校給食
- ・ 市民消費者



# 事例① 路地裏マルシェ

販路の拡大、若手農家のチャレンジ、生産者と消費者（飲食店）をつなげる、空き地の利活用





## 事例② ろじまる

マルシェからの発展、コミュニケーションの場、市場流通に依らない地元野菜の安定的な販売





# 事例③ 食育体験農園

遊休農地の活用、子どもの居場所、シニアの活躍、身近な食育の場





## 事例④ 農作業体験

耕作面積の拡大、地元野菜のファン作り、小学校の体験学習（平日稼働）、新規農産物へのチャレンジ（ひまわり・ぶどう）





# アイデア・ワークショップ

鹿骨でできそうなアクションの検討

- ・ これからの鹿骨の農業を楽しくするアイデア
- ・ 鹿骨の農とつながり豊かに暮らすアイデア

## STEP ① 自己紹介・アイデア出し（20分）

事前ワークシートに基づいて、「やってみたいこと」や「チャレンジしてみたいこと」を共有してみましょう。

※ グループスタッフは、アイデアを付箋に書き込んでください。

## STEP ② アイデアを膨らませる（20分）

「やってみたいこと」「チャレンジしてみたいこと」の中から、「すぐできそうなアクション」「まずやれそうなアクション」を考えてみましょう。

※ アイデアの付箋に合わせて、関連する取り組みや意見・コメントを貼ってください。

# グループでアイデアを出そう

鹿骨でできそうなアクションの検討

## STEP ③ 鹿骨にとっての効果を考える（20分）

「アクション」が地域にどんなプラスをもたらしそうか、考えてみましょう。

- ・ 農家にとってのメリット
- ・ 区民にとっての恩恵
- ・ 地域にとっての資源、財産

※ アイデアの付箋に合わせて、関連する意見・コメントを貼ってください。

## STEP ④ 発表・共有（15分）

各班で話し合ったことを簡単に発表してみましょう。



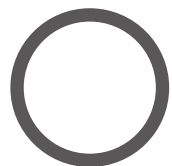
# グループでアイデアを出そう

鹿骨でできそうなアクションの検討

## STEP ①

### アイデアを出そう

- ・鹿骨でどんなことをやったら面白そうか？
- ・どんなチャレンジをしてみたいか？
- ・鹿骨に必要な取り組みは何か？

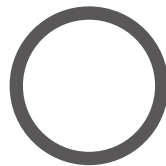
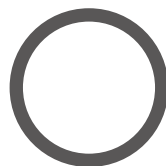
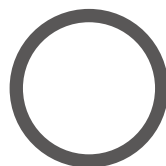


「マルシェ」を  
やってみたい！

## STEP ②

### アイデアを膨らませよう

- ・アイデア実現に向けて何ができそうか？
- ・関連しそうな取り組みはあるか？
- ・似たような事例や参考になる企画はあるか？

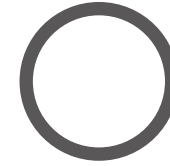
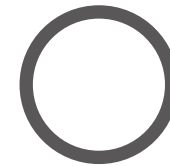
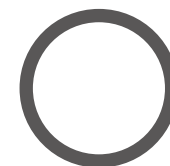


〇〇の事例が参考になる！  
△△公園ならできそう！

## STEP ③

### 効果や可能性を考えよう

- ・鹿骨にどんな豊かさをもたらすか？
- ・鹿骨のどんな課題に対応できそうか？
- ・誰が喜んで楽しんでくれそうか？



地域の方に食べてもらえる。  
飲食店とつながれる。  
農家の思いを知ってもらえる。